

平成23年度第1回倉吉未来中心利用者懇談会 概要

【現委員数】13名

今回出席委員：5名

※オブザーバー他関係者：2名

□は、委員からの主な意見の概要

●は、倉吉未来中心の対応及び取組状況

1 現在営業を休止している倉吉未来中心内レストラン及び売店の状況について概略を説明し、今後の利用方法についてご意見を伺った。

□前回の懇談会で、楽器や荷物などを一時的に保管できる場所として利用できないかという意見があったが。

ちょっとした高級なものを出せる店がなくなったのは残念である。

□倉吉では「餅しゃぶ」を売り出そうとしているが、未来中心のレストランでどうか。

□団体客向けの昼食込みのプランで呼び込めないか。厨房もあるので、料理コンテストや試食会などの使い方は。

□オープンスペースのアトリウムでは展示しにくいようなものの展示室してはどうか。中部はギャラリー的な展示会場が少ない。レストランの場所は、閉鎖されたスペースでもあり、壁に貼れる工夫もできる。

□楽器などを置くスペースとして、いいかもしれない。

イベント時の児童の待機場所（託児場所）としてはどうか。

2 その他のご意見

□利用者からの意見の回答のなかに、練習室で姿見を使用したい場合は用意できるとあるが、どこかに貸し出せることがわかるようにしてあるのか。

●特に掲示等はしていない。お困りのことがあれば、迷わずスタッフまで相談してほしい。

□台車のストッパーが壊れているものがある。玄関のスロープで使用すると、止まらないため危険である。

●早急に点検し修理する。

□畳の部屋があると託児で使えてよい。大ホールを利用する場合、セミナールーム9は奥まっているため、導線が良くない。

□年輩の方は畳で休みたい。

□着替えの時なども、畳の方が着替えやすい。

●楽屋をひとつ、畳間にしてもいいかもしれないが、施設の構造変更になるため県とも相談しながら検討する。

□利用に際し、不便を感じていることはない。利用者の意見にも素早く対応している。駐車場の白線は大変良くなった。

□除雪作業はどうしているのか。

●業者と年間契約をしている。今年の冬は除雪回数が多く経費も高額となった。

□大地震に対する体制はどのようにしているのか。

●普段から消防訓練をしているが、地震に対する訓練は特別に行っていない。今後は地震による災害訓練もしていかなければならないと考えている。現時点では、棚の上に荷物を置かない、ヘルメットの準備、避難経路の周知徹底などの対策を立てているが、今回の東日本大地震規模への具体的な対策は今後の課題である。